

第1学年〇組 道徳科学習指導案

〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時
授業者 教諭

- 1 主題名 誠実な生き方
- 2 ねらい 主人公の心の変容を捉える活動を通して、誠実に生きることのよさに気付き、自分や周りの人に対して責任ある行動をとろうとする実践意欲を育てる。

教材名 「裏庭でのできごと」 (出典:「あすを生きる 1」日本文教出版)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

「誠実に生きる」とは、自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつことである。他者からの判断を待つことなく、自分の中に自ら規律を作り、善悪に関わる物事について最終的な判断を自分の意志で決定できるようにし、その結果に責任をもつことが、よりよい人間関係を築くためには必要である。

指導に当たっては、日常のどのような小さな行為においても、自ら考え判断し、自分の自由な意志に基づいて決定し、それに対して責任をもたなければならないことを気づかせることが大切である。また、良心の大切さについても考えさせる。良心に基づく良い行為とは、自分にとっても他者にとっても良い行為である。この意味で、善悪の判断の基準となる多面的なものの見方や考え方を身に付けることの重要性を理解させていく。

(2) 生徒のこれまでの学習状況及び実態について

小学校低学年で「うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること」中学年で「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」高学年で「誠実に明るい心で生活すること。」を学んできている。

本学級は、男子〇〇名、女子〇〇名の学級である。男子、女子とも活発で素直な生徒が多く、授業に対しても積極的で、こちらの発問に対する反応も良い。新しい仲間と共に中学校生活をスタートさせ、9ヶ月が経過した。学級活動や部活動、行事などの多くの場面において、仲間と協力しながら積極的に取り組んでいる。しかし、周囲の意見に流され付和雷同したり、他人に責任を転嫁したりする場面もみられる。また、よりよく生きたいと思いつつも、自分で適切な判断ができず、安易な方向へ流されてしまいがちな生徒もいる。そこで本教材を通して、自ら考え、判断し、誠実に行動することの難しさと大切さを考えさせたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、日本文教出版「あすを生きる」に収録されている読み物教材である。

主人公の健二は、雄一、大輔の三人とともに、いけないと分かっているながらも、学校の裏庭でサッカーを始めてしまう。しばらくたってから、鳥のヒナを襲おうとしている猫が三人の目に入る。ヒナを助けようとした雄一が蹴ったボールで、学校の窓ガラスが割れてしまう。すぐに雄一は、先生に報告に行く。残った二人はまたサッカー続け、もう一枚ガラスを割ってしまう。大輔は先生に上手く言い訳をし、二枚とも雄一が割ってしまったことにしてしまう。健二は大輔の口車にのり、先生に事実を言えずにいるという内容である。

生徒の実態と教材の特質から、道徳的価値の実現は容易ではないことを理解し、道徳的価値を実現するために、誠実に生きることの良さについて考える授業とする。特に、正しいとは分かっているが、それを行わずにいるという主人公の葛藤に共感させたい。誠実な行動と友情のはざままで悩み、葛藤する健二の姿を通して、このようなことは、私達の生きる現実の社会の中でも起こり得ることに気づかせたい。そして、これまでの自分の状況を見つめ、道徳的価値を自分のことと捉えさせるため、「あなたは今まで誠実に生きてこられましたか？」という発問を行い、生徒一人一人の内省化を促し、これからの生き方の課題を考え、それを実現していこうとする思いを深めさせたい。

4 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 仲間の考える「誠実な人」を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">誠実な生き方とは？</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・真面目な人 ・思いやりのある人 ・誰にでも平等に接する人 ・忠実な人 ・正直な人 ・まごころのある人 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に「あなたの考える誠実な人はどんな人ですか」というアンケートをとる。 ・アンケート結果をまとめ、模造紙で示す。多様なとらえ方ができることを理解させる。
展開	2 教材を読んで話し合う。 (1) この話を読んで、誠実だと感じられるのは誰ですか？ (2) あなたが健二なら、先生の所に言いに行けますか？ 【補助発問】 ・本当に行ける？ ・大輔に止められているのに行くの？ ・後でばれたら大変なことになるかもしれないよ？ ・大好きな英語も身が入らないくらい悩んでいるんだよ？ ・バレたら怖いから行く、という考えは誠実？ 【補助発問】 ・鏡の前の健二はどんな顔をしているのだろう。 ・職員室に向かう健二はどんな顔をしているのだろう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">雄一</div> ・すぐに謝罪にいったから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">健二</div> ・最終的には謝罪に行ったから。 ・始めに誘われたとき、裏庭はダメだと言ったから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">大輔</div> ・ひどい人だと思った。 ・自分が謝れなくても、友達の口止めをするのは違う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">行く</div> ・言わないとスッキリしない。 ・ガラスが2枚割れているのは不自然だし、後でバレるから。 ・正直に言った方がいいから。 ・人として行くべきだから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">行けない</div> ・怒られたくないから。 ・勇気がでないから。 ・1人だと心細いから。 ・行かなきゃと分かっているけれど行きづらい。 ・大輔にとめられているから。 ・不安そうな顔 ・悩んだ顔 ・モヤモヤしている顔 ・覚悟が決まった顔 ・スッキリした顔 ・悔いている顔 ・人から信頼される。	<ul style="list-style-type: none"> ・範読後、登場人物の確認を行う。 ・挙手で誰だと思ったか確認した後、理由も述べさせる。 ・謝罪に行ったか行かないかということが、誠実かどうかの判断基準になっていることをおさえる。 ・赤と青のカードを使い、意思表示をさせる。 ・全体で議論させる。 ・お互いの意見を出させた後、質問や言いたいことを出させる。 ・大輔の存在も関係あることに気付かせ、付和雷同してしまう人間の弱さにも気付かせる。 ・どちらの意見にも補助発問を行い、良いと分かっているにもかかわらず出来ないことも捉えさせる。 ☆誠実に生きることにに関して、友達の多様な意見を踏まえながら考えを深めている。 ・2つの場面の健二の変化を捉えさせ、誠実に生きようとする、自分自身により変化が現れることを捉えさせる。

	<p>(3) 誠実に生きることの良さとはどんなことがあるだろう。</p> <p>3 本時の学習課題について自己を見つめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> あなたは今まで、誠実に生きてこられましたか？ どうすれば、誠実に生きていくことができるだろう？今日の授業を終えて考えた事を書こう。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達が増える。 いい人という印象になる。 毎日充実する。 <ul style="list-style-type: none"> 今まで失敗してしまったことをごまかしてしまう自分がいた。これからはちゃんと謝ったり誠実に生きて、晴れ晴れとした気持ちで生きていきたい。 自分の行動に責任をきちんともちたい。 	<p>☆今までの自分を見つめ直し、誠実に生きてくることが出来たかどうかを内省し、これからの生き方を考えることができたか。(ワークシート)</p>
終末	<p>4 ケント・M・キースの詩の朗読を聞く。</p> <p>振り返りカードの記入をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ワークシートの裏に詩を載せる。力強く朗読する。

5 他の教育活動等との関連

事前指導	事前に「あなたの考える誠実な人はどんな人ですか」というアンケートを取り、「誠実」という言葉に対して、自分がどのようなイメージをもっているか確認する。
道徳科	教材名「近くにいた友」 互いに信頼し高め合う友情の大切さを理解し、いっそう友達を大切にしようとする態度を育てる。
事後指導	帰りの会で本時の学習内容を振り返る。
家庭との連携	本時の学習内容や生徒の感想を学級通信で紹介し、家庭でも「誠実な生き方」について話題にしてもらう。

6 評価の視点

(1) 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- 誠実に生きることにに関して、友達の考えをもとに自分の考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- 今までの自分を見つめ直し、誠実に生きてくることが出来たかどうか内省している。

(2) 評価の観点

【教師の指導方法に関する工夫】

- 活発な意見交換ができるようにするため、コの字型の隊形で授業を行い、赤と青のカードを使い意志表示が分かりやすくなるようにする。
- 主人公の心の変容を追いながら、誠実な生き方について、深く考えさせる発問構成とする。

7 板書計画

<p>☆誠実な人とは？ 「裏庭のできごと」</p>	<p>雄一 すぐに謝罪</p>	<p>健一 悩んだけど謝罪</p>	<p>大輔 健二に口止め</p>	<p>行く あなたが健二なら……</p>	<p>スツキリしない 悪いことだから ばれたら、怖いから</p>	<p>行けない 怒られたくない 大輔を裏切ることになるから 今さら言っても仕方がない</p>	<p>誠実に生きることの良さ 心がすっきり 人から信頼される 友達が増える</p>	<p>鏡を見つめる健二の図 ←もやもや 職員室に向かう健二の図</p>	<p>決意・不安</p>	<p>アンケート結果を模造紙に記載し、教室前方に掲示する。</p>	<p>誠実な生き方</p>
<p>どうすれば、誠実に生きていくことができるだろう？</p>											